

関東がん専門医療人養成プログラム

このプログラムは、多様な新ニーズに対応するがん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プラン 関東がん専門医療人養成拠点事業教育コースの一環として開講するものである。履修者は、あらかじめ所属研究室の責任者の承諾を受けた上で、事前に所定の手続き(下記参照)を行うこと。このプログラムは、本学独自のプログラムであり、プログラム修了者に『関東がん専門医療人養成プログラム修了認定書』を交付する。

【履修方法・修了要件】

科目区分	科目群	条件又は科目名等	修得単位数
医学関連科目	基礎科目	必修「医学研究概論」(1単位)	11
		必修「医学セミナー」(3単位)	
		必修「医学特殊研究」(2単位)	
		必修「医学特別演習」(5単位)	
	専門科目	必修「統合医学研究特論」	2
	がんプロ必修科目(注1) (e-learning)	必修「がんの基盤的知識」(2単位)	8
		必修「総論:臨床腫瘍学」(1単位)	
		必修「各論:臨床腫瘍学」(1単位)	
		必修「臨床研究と統計学」(1単位)	
		必修「がんと倫理」(1単位)	
		必修「精神腫瘍学・社会腫瘍学」(1単位)	
	がんプロコース別総論(注2) (e-learning)	コース別総論必修「がんゲノム医療」(1単位)	1~
		コース別総論必修「小児・AYA世代・希少がん」(1単位)	
		コース別総論必修「ライフステージに応じたがん医療」(1単位)	
	がんプロ選択必修科目(注3) (e-learning)	e-learning選択必修科目を履修すること	4~
グループ選択科目	指導教員が担当する分野で開設している選択科目を履修すること	~12	
修了単位数			30

【修了要件】

- ① 審査制度の確立している学術雑誌に英文の原著論文 1編以上を筆頭著者として出版すること*1。
- ② 本プログラムの定める必修科目及び選択科目を合わせて30単位以上を修得すること*2。
- ③ 中間評価に合格すること*3。
- ④ 学位審査に合格すること。
- ⑤ 4年以上在学すること。ただし、特に優れた研究業績を上げた者は3年以上在学すれば足りるものとする。

*1 症例報告あるいは短い書簡形式報告等は、原則として学位審査資格要件論文とは認められない。学位審査までにacceptされ、印刷中になっていること。博士課程入学前に出版されたものは不可。

*2 標準的には2年次終了時まで修得し終えること。

*3 標準的には3年次前半に施行する。例外的には②を達成後の3年次後半などに施行する場合もある。

【e-learning履修の手続き】

・本プログラムのe-learningを履修するためには、がんプロ専用e-learning聴講用ID、パスワード発行が必要である。そのためには、TWINSでの履修申請に加え、大学院教務へがんプロ教育コース履修申請書を提出すること。
その際、(1)がんゲノム医療人養成大学院コース、(2)小児・AYA世代・希少がん専門医療人養成大学院コース、(3)包括的ライフステージサポート医療人養成大学院コースの3つのコースから自身の研究テーマに最も近いコースを選択すること。

【標準的な単位の履修方法】

2年次終了時まで、

- i) 基礎科目11単位+専門科目:必修「統合医学研究特論」2単位の合計13単位を履修すること。
- ii) 関東がん専門医療人養成プログラムのe-learning講義(必修科目(8単位)、コース別総論(1単位以上)、選択必修科目(4単位~)=全13単位を履修すること。
- iii) i)+ii)の26単位に加え、グループ選択科目として指導教員が担当する分野の専門科目の中から特論IとII、演習IとII、実験実習IとII(計12単位)を履修することが望ましい。この12単位は医学学位プログラムの専門科目と同一である。これらを合わせると、合計38単位の履修となり、本プログラムとともに医学学位プログラムの修了要件も満たすこととなる。
- iv) すべての履修単位の合計は、50単位以下とすること。

注1: がんプロ必修科目(e-learning)の単位取得するに当たっては、当該科目の履修申請年度(現在所属の大学院に在学中で年度の聴講締切日前)までに、指定したがんプロ主催のセミナーを3つ出席し、その内容を所定様式レポートにより提出することを推奨する。

注2: がんプロコース別総論必修科目の3科目(「がんゲノム医療」、「小児・AYA世代・希少がん」、「ライフステージに応じたがん医療」)については、履修申請時に選択したコースの科目1単位は必須とし、全3科目を取得することを推奨する。

注3: がんプロ選択必修科目の4単位とはe-learningの授業項目を28コマ以上、聴講することである。自身の研究テーマに最も近いグループ(【別紙】参照)の定める講義を選択することが望ましい。

【その他】

・本プログラムの修了要件を満たせば、医学学位プログラムの課程を修了することができる。

【別紙】

がんプロ選択必修科目におけるグループ分けについて

グループ名	選択必修科目名(単位数)
放射線腫瘍学グループ	「臨床腫瘍学(放射線腫瘍学)講義及び実習」(4単位)
腫瘍外科学グループ	「臨床腫瘍学(外科系)講義及び実習」(4単位)
腫瘍内科学グループ	「臨床腫瘍学(内科系)講義及び実習」(4単位)
緩和医療・精神腫瘍学グループ	「緩和医療・精神腫瘍学講義及び実習」(4単位)
基礎腫瘍学グループ	「基礎腫瘍・がん医療開発講義及び実習」(4単位)
先端医療医学物理学指導者グループ	「基礎医学物理学」(6単位)
	「治療医学物理学」(6単位)
	「医学物理学総合実習」(4単位)
	} 16単位
腫瘍薬学グループ	「臨床腫瘍学(薬学系)講義及び実習」(4単位)

*グループとは自身が所属する研究室を意味する。